



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

## 親子木工教室を実施しました

西目屋村白神山地ビジターセンター主催のイベント「ビジターセンター夏のふれあいデー」が7月23日（土）、24日（日）2日間にわたり開催され、津軽白神森林生態系保全センター職員各日2名、計4名が参加し、親子木工教室を実施しました。

昨年度は、新型コロナウイルス拡大の影響で当センターは参加を見合わせたため、約2年ぶりの参加となりました。未だ収まりを見せない新型コロナウイルス感染防止のため、室内の密集防止策として事前予約制、1回あたり4家族に限定、各回終了後に作業台や道具を消毒するなどの対策を取りながらの実施となりました。

私が参加した7月23日（土）は、雨が降りしきる、生憎の天気でしたが、多くのご家族が私たちの木工教室に参加してくださいました。

作業前に、まず私たちから作り方の説明。その後、木製キッドでイスやプランターを作ってもらいました。まず、釘を打つ場所に目印として定規と鉛筆で線を引くのですが、そこから、もう皆さん真剣モードです。そして、いよいよ釘の打ち込み。釘が曲がらないようカナヅチを打ち込んでいきます。小さいお子さんは、お父さん、お母さんに手伝ってもらった場面もありましたが、それぞれ真剣な面持ちで一所懸命に作業している姿が印象的でした。そして、できあがったときの誇らしげな笑顔！

2日間計6回、24人のお子さんに体験してもらいました。いただいたアンケートには、「難しかったけど楽しかった」、「資料や説明が分かりやすかった」「釘を打つのが大変だったけど上手にできて良かった」など、私たちスタッフにとって、嬉しい回答を多くいただきました。

今回いただいた参加者の皆さんの声を励みにして、今後も一般の方たちに、木の良さを感じてもらえる機会を継続していきたいと思っております。（赤澤）



木工教室全体の様子



釘打ちの様子

## 中・大型哺乳類調査を実施しています

近年、白神山地周辺では、生態系に影響を及ぼす恐れがある、ニホンジカやイノシシ及びハクビシン等、これまで見られなかった動物が出没するようになってきています。その現状を把握するために、白神山地周辺（青森県側）で、平成26年度より、自動撮影カメラを利用した、中・大型哺乳類調査を、今年度は35台で実施しています。

調査は、請負契約に基づき、調査専門業者によるセンサーカメラメンテナンス及び撮影画像の解析等を行っており、当センター職員は監督職員として、現地にも同行し、作業手順、作業方法等の安全指導、カメラの設置、撮影方法等の助言等を行っています。

データ収集作業は6月から月1回のペースで実施していますが、8月は東北北部を襲った豪雨災害により現地までの道路が被災となったことで通行止めとなり、半数の箇所が行けなくなりやむを得ずデータ回収を見送りましたが、今後の道路の復旧状況を確認しながら再開を検討します。

調査結果をみると、雑食性のハクビシンが多く確認されており、ニホンジカも徐々に増加傾向にあります。

特にニホンジカは森林の生態系に影響を及ぼす可能性が高いことから、今、一番の関心事です。

昨年度、写っていたニホンジカは全てオスでありましたが、メスが存在していると繁殖し更に個体数が増加する可能性がありますので、今後メスが撮影されるのかを注視しています。

年度当初から多量の残雪、大雨による自然災害により、現地までの道路状況が悪い中での作業となっていますが、この調査は、白神山地周辺の個体の種類、数の推移を把握し、生態系への影響を考察するために意義がありますので、今後も安全第一にデータ収集に努めてまいります。（中和）



データ収集作業



メンテナンス作業

### 【重要なお知らせ】 今後の森林教室・自然再生活動について

189号の記事で、第1回自然再生活動延期についてお知らせしておりましたが、正式に中止とさせていただきます。発表が遅くなり申し訳ございませんでした。

また、9月に自然再生活動、10月に森林教室の開催をそれぞれ予定しておりますが、開催予定箇所が通行止めとなっているため、現地の確認ができない状態となっております。楽しみにされていた皆様には大変申し訳ございませんが、9月に発行する白神の絆にて、開催の詳細についてお知らせいたします。